

第1回 学校自己評価アンケートの報告と今後の取り組みについて

秋涼の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、「第1回 学校評価アンケート」へのご協力をありがとうございました。結果の報告と今後の取組について、下記のようにまとめましたのでお知らせいたします。アンケートの結果を受け、さらに子どもたちのために努力して参ります。

今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

学校評価アンケートの結果と今後の取り組み ～「できている」「ほぼできている」の割合をもとに～

1 学習面

○授業が分かるように努力している	児童…89%	職員…96%
○すすんで家庭学習に取り組んでいる	児童…85%	職員…92%
○先生や友だちの話をよく聞いている	児童…94%	職員…76%

<考察と今後の取り組み>

全校の多くの子どもが学習に対し意欲をもっていることがうかがえます。しかし、学習内容の習得・定着については、課題となる部分がみられます。6年生の全国学力学習状況調査では、「話すこと・聞くこと」「思考・判断・表現」などで全国平均を下回っている部分がありました。今後は、自分の考えや思いを伝え、友だちと考え合う活動などを授業に位置づけ、子ども自らが考え合い、学び合う授業づくりを進めてまいります。また、丸子中学校においても「学び合い」を視点に授業改善を行っているので、小中で連携して小中9年間の見通しをもった学びについて検討していきたいです。

2 生活面

○学校生活を楽しんでいる	児童…94%	職員…96%
○すすんであいさつをしている	児童…88%	職員…88%
○友だちのよいところを見つけ仲良く生活している	児童…92%	職員…96%
○すすんで体を動かし運動している	児童…83%	職員…96%
○時間いっぱいそうじに取り組んでいる	児童…93%	職員…64%
○規則正しい生活をしている	児童…72%	職員…56%

<考察と今後の取り組み>

愉しくけじめのある学校生活づくりに向けて、「あいさつ・返事・靴をそろえ・腰骨を立てる」の習慣化を目指しています。あいさつの声は4月に比べると、よく聞かれるようになりました。児童会が中心となって、継続的に朝のあいさつ運動を行っているおかげで、さわやかな「おはようございます」の声がよく聞かれています。

また、統合2年目の今年度も、西内小の校舎や自然を活用した学習を継続して実施し、両校の文化をつなげる取組を行っています。加えて、地域の皆様にご協力いただいている野菜の栽培活動や保育園・高校との交流活動を通して、地域のよさや人・こと・ものを知る活動が充実してきていることも、「学校生活を楽しんでいる」ことにつながっているのではないかと思います。今後も、「早く行きたくなる学校づくり」に向けて、すべての教育活動を通して取り組んでいきたいです。

3 ご家庭へのお願い

あいさつは、ここ数年の本校の課題ですが、家庭でも声がけをしていただいているおかげで、徐々に改善してきていることがうかがえます。また、メディアとのかかわり方については、規則正しい生活を送ることに課題をもっている子どもが見られます。ゲームやスマホの使い方について、お子さんと話し合ってください、きまりあるかかわり方ができますようご協力をいただければと思います。

今後も、子どもたちが楽しくよりよい学校生活を送れるよう、職員一丸となって教育活動に取り組んでまいります。なお、集計結果は丸子中央小学校 HP にも掲載いたします。他のニュースと併せてどうぞご覧ください。なお、10月には、保護者の皆様にもアンケートに回答していただきます。ご協力いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

上田市立丸子中央小学校
教頭 宮田 宗人
担当 鮫島 光太郎
電話 42-2112